

県民経済計算

県内総生産

令和2年度の県内総生産は名目で8兆2,731億円、実質で8兆3,643億円となり、対前年度比(経済成長率)は名目1.6%、実質0.8%の増加となりました。

※08SNA(国民経済計算体系)による「県民経済計算推計方法ガイドライン」に基づき推計したものです。

図62 県内総生産の推移

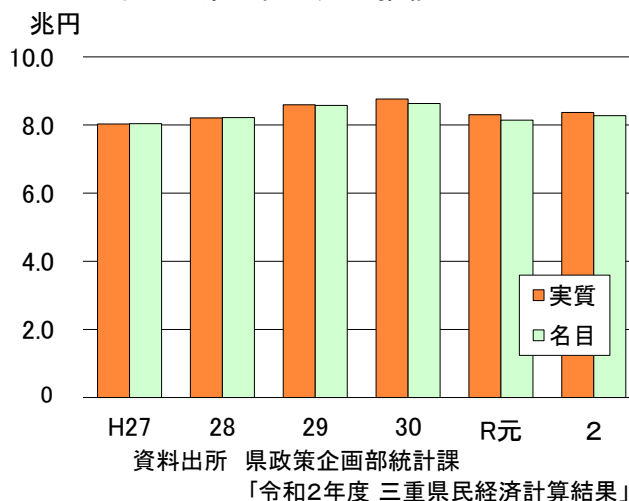
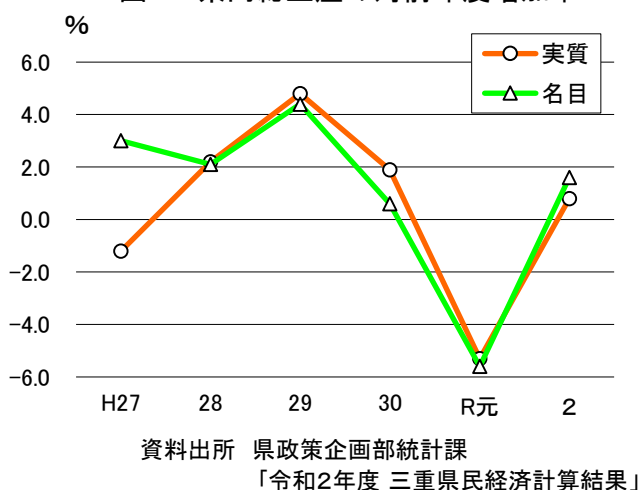


図63 県内総生産の対前年度増加率



県内総生産(支出側)

令和2年度の県内総生産(名目)の8兆2,731億円を支出側からみると、民間最終消費支出は3兆7,626億円となり、対前年度比は6.1%の減少となりました。

また、地方政府等最終消費支出は1兆2,014億円となり、対前年度比は0.8%の減少、県内総資本形成は1兆9,752億円となり、対前年度比は7.2%の減少となりました。

県民所得(分配)

令和2年度の県民所得は5兆2,195億円で、対前年度比は2.2%の減少となりました。

県民雇用者報酬は県民所得の71.7%を占める3兆7,398億円で、対前年度比は2.6%の減少となりました。

また、1人当たりの県民所得は294万8千円で、対前年度比は1.5%の減少となりました。1人当たりの国民所得は297万5千円で、国を100とした場合の三重県の値(対全国比)は99.1となりました。

図64 1人当たり県民所得の推移

